

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 4 日 (17:45~18:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 松田、原田、春木、吉川、梶野、山岸、堂佛、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	1人	0人	9人

前回の改善計画	経験の少ない職員や新職員の意見、不安を職員会議の中で共有し、お互いにアドバイスできるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	新職員から些細な質問にも丁寧に答えてくれ不安を解消できた。わからない事を聞くとアドバイスしてくれるので、仕事も覚えやすいとの意見があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	9	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	7	1	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始前に本人の情報やニーズについて職員会議の中で確認している。急な利用で会議の中で確認でき	

ない時は、利用開始前にフェースシートで情報を確認している。不明な点は知っている職員に聞き確認している。

- ・初回利用日に関わった職員が日常動作や様子について記録をしているので、次にかかわる時の参考となる
- ・利用開始直後で慣れない利用者には不安に感じさせない声かけをしている
- ・送迎時に家族との信頼関係を作るため通いでの様子を簡単に伝えている
- ・利用開始前に本人に、どのような生活を望んでいるか、悩みがないか言葉を変え聞き出す事をしている。家族にはどこまで介護が出来るか、どんな生活をしてほしいかなど聞きとっている

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・フェースシートと実際の状況が異なりあたふたしてしまうことがある
- ・契約から利用までが短く、情報を読んでも理解が不十分なことがある
- ・通い人数が曜日によって異なり、人数の多い日は慣れていない利用者への対応が十分出来ない事もある
- ・慣れていない利用者への気遣いはしているが、適切な声掛けが出来ているかわからない
- ・職員へ伝達する時に短時間で利用者の情報を上手く伝えられない。
- ・本人、家族のニーズ、情報を読んでも把握できていない事が多い
- ・会議や普段の勤務の中で新職員の意見・不安をゆっくり聞く時間を作れなかった

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

利用開始直後の利用者について次の関わりに行かせるよう、本人にとって嫌な事や、好む事、集中して取り組めることなどを記録していく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月4日 (18:00~18:25)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 松田、原田、春木、吉川、梶野、山岸、堂佛、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	1人	0人	9人

前回の改善計画	本人の目標、ニーズ、ケアプランに沿った介護について学習する
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議の中で地域密着型サービスの地域で生活を支える視点やニーズ、目標について学習した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	7	3	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	3	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	4	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	7	3	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・職員会議やカンファレンスで利用者の状態を確認し次の対応に活かしている

- ・職員が事例をまとめ、発表することでケアの振り返りをしている
- ・日々の関わりの中で「散歩に行きたい」「塗り絵がしたい」など利用者の発した言葉を受け止めすぐに実行している。自ら意思を伝えられない方とはかかわりの中で表情などをくみ取りケアに結び付けている
- ・通いの中で本人の思いをくみ取り家族、本人のニーズに沿って支援することを心がけている
- ・その人が出来ている事をみつけ関わりを持つように心がけている
- ・脳トレ、体操など個人的に学習できた
- ・以前より利用者1人1人の目標について知り、ケアプランを見るようになった

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・短期目標や短期目標に合わせた介護について意識した関わりが出来ていない
- ・認知症のある方の要求を確認するのが難しい。
- ・本人と家族の要望がずれている時にどうしたらよいか困る
- ・本人の目標に沿った介護について学習し次の対応に行かせるまでにはなっていない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

本人と家族の要望のずれがあるため、家族に本人の状況を理解してもらえよう家族に会った職員が日常の様子や変化など説明する。併設している高齢者住宅ぽろかに面会に来た家族と会う機会を作れるよう事務職員と連携する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 4 日 (18 : 25 ~ 18 : 45)

3. 日常生活の支援

メンバー 松田、原田、春木、吉川、梶野、山岸、堂佛、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	7人	0人	10人

前回の改善計画	認知症が進むと自分の言葉で表現できなくなるので、担当が認知症の初期に暮らし方や本人の要望を聞き取る時間を作る
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の関わりの中での会話、事例のまとめで本人や家族から今までの暮らし方や要望を聞き取りすることが出来た

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	10	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	5	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	11	0	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	5	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	6	0	0	12

--	--	--	--	--	--	--

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体調、気持ちの変化等にチームですぐに情報共有され対応策を実施している。ご家族にも伝えている。 ・ ご本人、ご家族との聞き取り時間を多く持てた。ご本人、ご家族が意見を言いやすい関係作りに役立った ・ 日々の変化で気付いたことは発信しケア記録などで共有出来た ・ 事例をまとめる事で以前の暮らし方が理解できた ・ 本人の表情や行動から変化に気づき、対応している ・ 職員会議の中でケアの振り返りが出来ている ・ 塩分制限食、カロリー制限、水分のトロミ使用、個々に合わせた食事形態の提供をしている ・ 排泄間隔に合わせたトイレ誘導をしている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員会議の短い時間の中で本人の声を把握するのが難しい ・ 利用者全員の以前の暮らし方の把握が出来ていない ・ 本人の以前の暮らし方や要望を聞き取る時間を作れていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>本人や家族から聞き取った今までの暮らし方や要望を職員間で共有できるように、どのように記録していくか検討する</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 4 日 (18 : 45~19 : 05)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松田、原田、春木、吉川、梶野、山岸、堂佛、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	4 人	3 人	10 人

前回の改善計画
民生委員と顔の見えるつながりを持つ 地域密着型サービスとして地域の暮らしについて職員会議の中で話し合う
前回の改善計画に対する取組み結果
民生委員とのつながりを持ちながら地域で生活している方もいるが、そうでない方がいる。地域密着型サービスとして地域での暮らしを支える視点について職員会議の中で学んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	9	1	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	10	0	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	6	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	7	2	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族との連絡帳でのやり取りや送迎時に情報共有を心がけている ・生活歴や地域とのつながりを意識した関わりを行っている ・ろうあ相談員、手話通訳士、自治会長、手話の会、民生委員、管理人、有償ボランティア、配食サービスなどとの連携をしている ・町内会費の支払いや回覧板、老人クラブへの参加の支援をしている ・職員間の情報の共有で自宅での生活や人間関係がわかる ・地域資源についてほしい把握している 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員とのつながりが少ない ・地域とのかかわりについてどのように把握するのか良くわからない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているかがわかる部屋の様子や本人・家族からの話があった時は記録していく</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 4 日 (19 : 05 ~ 19 : 10)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松田、原田、春木、吉川、梶野、山岸、堂佛、森本、黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	3人	2人	10人

前回の改善計画	
週に2回のカンファレンスを開催する	
前回の改善計画に対する取組み結果	
カンファレンスの時間を作るのが難しかったが週に1回はカンファレンスを開催してきた。カンファレンスのほかに職員会議の中でも話し合いの場を作ってきた	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	4	1	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	4	1	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	5	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	4	0	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者に合わせた臨機応変な対応が出来ており、ケア記録で情報の共有も出来ている
- ・職員会議の中やカンファレンスで情報できている
- ・有償ボランティアや手話通訳士、民生委員、配食サービスなどの利用をしている
- ・週に1～2回のカンファレンスは出来ている
- ・日常生活自立支援制度の利用をしている
- ・腹話術、朗読などボランティアの活用をしている

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自分から利用者の変化について発信できていない
- ・良い変化について記録に残せていない
- ・地域資源を使いながら支援できていない
- ・週に2回のカンファレンスの時間を作るのが難しい

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

体調、精神面での変化や出来なくなってきた事などは記録されているが、良い事の変化に対する記録が少ないため良い変化についても記録して行く

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 4 日 (19 : 10 ~19 : 15)

6. 連携・協働

メンバー 松田、原田、春木、吉川、梶野、山岸、堂佛、森本、黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	6人	3人	9人

前回の改善計画	高齢者や地域の方に来てもらえるような認知症サポーター養成講座や介護相談会の企画を立てる
前回の改善計画に対する取組み結果	まだ実施できていないが 11 月に認知症サポーター養成講座や介護相談会を行う予定となっているため継続課題とする

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	1	2	7	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	1	8	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	8	1	1	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	8	2	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・病院や訪問看護、訪問リハビリ、福祉用具などとのサービス担当者会議の実施、必要時の情報共有が出来ている
- ・運営推進会議への地域包括支援センター、予防センターの参加がある
- ・ケアセンターかりふ上野幌で夏祭りを企画したり、町内の祭り、上野幌小学校の学習発表会、4年生の訪問、卒業式への参加、児童会館の駅伝大会応援、などの交流がある
- ・消防団がAED学習会講師、避難訓練への参加をしてくれている
- ・こども110番の家、公用車での防犯パトロールを実施している
- ・地域連絡会など地域で開催されている研修会へ参加し、区内の事業所とのつながりをつくっている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座、介護相談会の実施は出来ていないが11月に企画予定している ・自治体や地域包括支援センターとの会議に参加できていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
高齢者や地域の方に来てもらえるような認知症サポーター養成講座や介護相談会の企画を立てる	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 4 日 (19 : 15～ 19:40)

7. 運営

メンバー 松田、原田、春木、吉川、梶野、山岸、堂佛、森本、黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	1人	3人	9人

前回の改善計画	運営推進会議の中で地域の課題などを共有する
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議の中で地域の高齢者の様子を話し合う機会を持ち、参加していない職員に会議報告書を配布しているが、共有されないこともある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	3	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	5	0	3	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	1	4	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	6	2	3	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・事業所方針や総括、予算について職員会議の中で職員の意見を聞いている。日々の利用者や業務改善についても意見を反映している。
- ・利用者・家族満足度調査を年に1回実施し、結果を職員間で共有しケアに反映させている。
- ・ケアセンターかりぷ上野幌の夏祭りを企画し、たくさんの地域の方に来ていただいている
- ・苦情については都度職員会議で報告し対応を確認している
- ・運営推進会議の中でサービス内容などについて意見をもらっている
- ・上野幌西小学校の子供たちに見えるように季節の飾りをつくり掲示している
- ・法人内のリスクマネジメント委員会や管理者会議の中で苦情報告を共有している
- ・運営推進会議の報告書を読んで確認している

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域からの意見を直接聞く機会がない
- ・積極的に地域と協働できるように取り組めていない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

事業所の活動や取り組みについて、より良い支援の提供、業務改善となるような意見や提案が出来る

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 4 日 (19 : 40 ~ 19 : 50)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松田、原田、春木、吉川、梶野、山岸、堂佛、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	1 人	4 人	8 人

前回の改善計画	厚別区内の事業所や札幌市内の小規模多機能型居宅介護とのつながりを持つ
前回の改善計画に対する取組み結果	札幌市の小規模多機能居宅介護連絡会や厚別区内の地域連絡会に参加出来ている職員もいるが、出来ていない職員もいる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	3	3	3	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	4	4	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	1	9	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	2	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・事故、ヒヤリハット、苦情について報告書を作成し、事故内容、対策について職員会議の中で確認している。法人内にもリスクマネジメント委員会が設置されている。リスクマネジメントに関しては利用者のADL把握し、事故に繋がらないよう未然に対応している
- ・年間研修計画を立て職員会議の中で学習をしている。法人内の感染症、リスクマネジメントなどの学習会にも参加している。法人内の委員会で記録の学習をしている
- ・育成面接をし個別研修計画を立てている
- ・事業所で1人1事例のまとめを実施し発表会を2回行った
- ・消防団に講師を依頼し救命救急の学習会を2回実施し全員が参加した
- ・小規模連絡会や地域連絡会に参加し他事業所とのつながりをつくっている
- ・資格取得に向けた学習をしている
- ・脳トレ、体操など個人的に学習できた

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップのための資格取得には至っていない ・外部の研修会への参加ができていない ・地域連絡会への参加ができていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職場内外の研修に1人1回は参加する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 5 日 (19 : 50 ~ 20 : 05)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松田、原田、春木、吉川、梶野、山岸、堂佛、森本、黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	3人	1人	9人

前回の改善計画	成年後見制度や個人情報保護について学習を持つ
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議の中で成年後見制度、日常生活自立支援制度、個人情報、プライバシー保護について学習した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	5	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	6	6	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	1	1	3	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	8	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日中は玄関の施錠はしていない ・ 帰宅願望の強い方にやむを得ない身体拘束の 3 要件について学習し法的に必要な同意書、記録の整備をしながら身体拘束をしないケアを職員会議やカンファレンスで話し合いながら進めてきた。 ・ 身体拘束、虐待、プライバシー保護、個人情報、成年後見制度については年間計画に入れ職員会議の中で学習している ・ 利用者の前で他の利用者の話をしない ・ 入浴時には体にタオルをかけプライバシーを配慮している ・ 日々の声かけの中で丁寧に話すよう気をつけている ・ 日常生活自立支援制度の利用をしている ・ 個人情報の取り扱いについて気をつけている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の前で他の利用者の話をすることがある ・ 排泄介助時にパットを隠さずに持ち歩いていることがある ・ 成年後見制度の利用がない。利用している利用者がいるのかわからない ・ 耳が遠いのでトイレ誘導の声かけが大きな声となり、周りに聞こえている 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
排泄介助時のプライバシーを尊重した介護方法について考える	